

# 平成22年度事業報告

本年度は、東静岡駅を中心に7月から開催された静岡市の一大イベントである「静岡ホビーフェア」での観光案内、イベントの実施やキャンペーン、国宝に指定された久能山東照宮のPR、Japan MICE Year（ジャパン・マイス・イヤー）として日本政府観光局、観光庁主催のインセンティブ事業等へ積極的に参加するとともに、前年度に引き続き「富士山静岡空港」誘客宣伝事業を実施した。

誘致支援事業では、コンベンション誘致として県内をはじめ首都圏の各種団体への誘致活動及び5都市共同で主催者を招いての情報交換会を実施した。また、マイスイヤー初年度事業として、日本政府観光局(JNTO)主催の上海、ソウルでの商談会への参加、キーパーソンの招請商談会を開催した。その他、観光キャラバン隊の派遣、観光展への出展、富士山静岡空港を利用した国内外での商談会等へ参加した。支援事業として歓迎モニュメントの設置、エキスカーション、アトラクションの紹介等を実施した。

なお、平成22年度に支援したコンベンションは、168件（前年度189件）となった。

広報宣伝事業では、ホームページによる情報発信、おもてなしクーポンの発行、久能山東照宮のポスターのほか外国語プロモーション用リーフレットなど各種観光パンフレットを作成配布した。

その他、観光案内所において来静する観光客等を案内したほか、人材育成事業や、静岡市から施設管理を受託し運営した。

平成23年3月11日の東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故により、翌12日以降、開催予定の10件にのぼるコンベンション等が中止となり、参加総数25,630名、県外参加16,820名のキャンセルがあり大きな影響を受けたところである。

## I 誘致支援事業

### 1 誘致誘客事業

- (1) 地元の大学、行政、団体、医療機関、企業等に対してコンベンション開催を働きかけた（随時）
- (2) 5都市（盛岡・金沢・静岡・高松・宮崎）の情報交換会を開催した。  
期 日：平成22年12月8日（水）  
会 場：東京国際フォーラム（IME会場）  
各都市で開催実績をもつ主催者14組21名を招いて、誘致に向けて5都市のプレゼンテーションや情報交換会を兼ねた懇談会を実施した。
- (3) 首都圏での誘致活動  
首都圏の各種団体及び企業を個別訪問し、当地での大会開催を働きかけた。  
（10回、53団体を訪問）
- (4) 第20回国際ミーティング・エキスポ  
（IME2011）に出展参加

期 日：平成22年12月7日（火）～8日（水）  
会 場：東京国際フォーラム  
出展者：63団体・企業  
来場者：3,021名



IIME 出展

(5) 主催者招請事業

静岡に国際会議、国内会議を誘致するため、以下2件の主催者に対し、当地のコンベンション施設の視察等を実施した。

① 構造及び複合領域最適化の国際会議

平成21年12月に開催決定、22年に、主催者が会場下見と打合せに来静。

開催期日：平成23年6月13日～17日

会場：グランシップ

② 第22回プレスコンクリートの発展に関するシンポジウム

開催検討中。

(6) MICE YEAR初年度にあたり、日本政府観光局（JNTO）主催の上海商談会、ソウル・インセンティブマート、インセンティブ旅行キーパーソン商談会に参加した。

上海商談会

① IT&CMChina（上海MICE見本市）

期 日：平成22年4月6日（火）～10日（土）

② 2010ソウルインセンティブ商談会とエージェントセールス

期 日：平成22年9月6日（月）～9日（木）

③インセンティブ旅行キーパーソン招請商談会

期 日：平成22年12月7日（火）



(7) 第1回インバウンド誘致意見交換会

MICE YEAR初年度の当協会事業報告と今後の誘致事業について意見交換会開催した。

期 日：平成23年2月22日（火）

会 場：静岡市クリエイター支援センター第二会議室

参加者：賛助会員30社31名

(8) 3協会協同事業（静岡観光コンベンション協会、浜松観光コンベンションビューロー、富士山観光交流ビューロー）

内 容：韓国から9名の教育旅行視察団を招き、静岡県内の視察と学校交流及び静岡県内の小・中・高校の学校長と交流会を実施した。

期 日：平成22年6月15日（火）～18日（金）

招請者：韓国学校長9名＋旅行社1名

交流会：ホテルセンチュリー静岡にて33名（韓国10名、日本10校11名＋3協会12名）

(9) 観光キャラバン隊派遣事業

実施期間 平成22年 5月27日（木）

平成22年 9月16日（木）

平成22年12月15日(水)

派遣先 横浜市、小田原市、甲府市、名古屋市、大阪市  
実施内容 静岡市観光PRのため、県外のラジオ局新聞社・旅行エージェント・観光協会等を訪問した。

(10) 教育旅行誘致宣伝事業

静岡市に対して興味を抱いている地域、また実績のある地域の小学校を訪問し、体験プログラム等で活動メニューを紹介した。

実施期間 平成22年12月6日～12月14日(3回)

訪問先 神奈川県、東京都、埼玉県下の小学校、教育委員会  
計37箇所

(11) マスメディア宣伝事業

富士山静岡空港の国内定期便就航先の北海道に向け、現地情報誌を活用し、静岡市の観光宣伝を行なった。

形態 情報誌への広告掲載とアンケートによる読者プレゼントを実施。

広告媒体 「オントナ」  
(北海道新聞夕刊折込みタブロイド紙)

掲載日 平成23年1月12日(全3段)  
1月19日(全3段)、  
1月26日(全13段) 計3回

内容 富士山の景勝地、久能山東照宮、静岡市の味覚、静岡ホビーフェア等を紹介

発行部数 各約279,000部



オントナ 記事広告

(12) 観光展出展事業

ア「第7回琉球の祭典」

会期 平成22年10月23日(土)  
～24日(日)

会場 沖縄県那覇市 奥武山陸上競技場

内容 出展した静岡県ブースにて静岡市の観光パンフレット等を配布し、富士山静岡空港を利用する誘客活動を実施した。



「琉球の祭典」出展

また、これに併せ那覇市の旅行エージェントを訪問し、旅行動向の情報収集と静岡市のPRを行なった。

イ「産業フェアしずおか2010」

会期 平成22年11月27日(土)～28日(日)

会場 静岡市駿河区曲金三丁目 ツインメッセ静岡

内容 観光PRコーナーを設置し、ポスターや各種パンフレット

配架により来場客に静岡市の観光地、施設の紹介を行なった。  
また、郷土玩具の制作実演コーナーを設け、伝統的な手作り品のアピールを図った。

(13) 「富士山静岡空港」誘客宣伝事業

「富士山静岡空港」を利用した国内就航先及び東アジア圏からの観光客誘致と静岡市のPRを図るため、静岡県や広域観光協議会等による観光ミッションや旅行会社との商談会等に参画した。

ア 海外

- ・ 「ふじのくに3776友好訪中団」観光班として参加。

平成22年5月10日～14日・平成22年10月13日～17日

中国

- ・ KOTFA「韓国国際観光展2010」に参加。

平成22年6月2日～5日

韓国ソウル市

- ・ 東海外客「台北・高雄へのミッション団派遣事業」に参加。

平成22年11月2日～9日

台湾高雄市、台北市

- ・ 中部広域観光推進協議会主催「台北国際旅行博」(ITF2010)に参加。

平成22年11月3日～6日

台湾台北市

イ 国内

- ・ 松本市観光キャラバン

平成22年12月3日(木)～12月4日(金)

- ・ ふじのくにしずおか北海道キャンペーン(於：札幌市)

平成23年1月13日(木)～1月15日(土)

(14) 海浜植物保護事業

三保地区の景観向上として継続してきた、三保真崎海岸東屋付近でのハマユウ等苗床の整備を行なった。

(15) 各種イベントの開催支援

ア 日本平梅まつり開催事業

日本平山頂の梅園を中心に、久能山東照宮を含めた日本平のPRと、来場する観光客のおもてなしを図った。

実施日 平成23年1月29日(土)～2月20日(日)

会場 日本平梅園及び周辺

内容 お茶会や仮設ステージで太鼓、津軽三味線、ジャズダンスの披露や地場製品の販売を行った。

イ 清水カップ全国グラウンドゴルフ大会開催事業

富士山の景観がすばらしい日本平と三保の松原のPRを兼ねて、宿泊を伴う



韓国 KOTFA 商談会



台湾 ITF 会場と商談会

2日間の大会を開催した。

実施日 平成23年3月6日(日)～7日(月)

会場 日本平ホテル芝生庭園、  
三保貝島スポーツ広場

参加人員 全国から470人



グラウンドゴルフ大会

ウ 三保あさり祭り開催事業

三保地区PR、誘客促進を図るため、あさり拾い、宝探し、ビーチサンダル飛ばしなどを行った。

実施日 平成22年7月19日(月・祝)

会場 三保内浜海水浴場

参加人数 11,000人



三保あさり祭り

エ しみず地球元気村2010の運営

静岡市森林公園やすらぎの森「黒川キャンプ場」にて、1泊2日の自然体験教室を実施した。夜は宇崎竜童氏のミニコンサートを行った。

実施日 平成22年4月17日(土)

～18日(日)

参加人数 県内外から124名



しみず地球元気村

オ 次郎長翁を知る会の運営

静岡市清水港船宿記念館「末廣」にて次郎長巷談、史跡探訪、会報の発行、供養祭、総会等を実施した。

## 2 支援事業

平成22年度に当協会が支援したコンベンションは168件。

詳細は別紙一覧表(P25)のとおり、また、支援内容は次のとおり。

- (1) コンベンション主催者が開催を円滑に行うことができるように、大会運営の具体的な相談、助言を行なった。
- (2) コンベンション開催会場、関係業者、宿泊施設、旅行会社、通訳、物産販売等の紹介斡旋を行なった。
- (3) 歓迎モニュメントを大会会場等に設置した(120回)
- (4) 訪日旅行受入歓迎看板を製作し、中国インセンティブ訪日外客団体への歓迎として5箇所を設置した。
- (5) 次の支援グッズを作成し、主催者に廉価で提供した。
  - ・名札
  - ・オリジナルコンベンションバッグ
  - ・大会用資料入れ封筒
  - ・手提げビニール袋
- (6) エキスカーション(観光視察)、アトラクション(郷土芸能)等の紹介を行った。
- (7) 大会会場に観光ボランティアガイドである静岡案内人「駿府ウエイブ」による観光インフォメーションデスクを設置し、観光プランの提案、静岡ならではの食、



歓迎モニュメント



土産品等の紹介を行った。

4大会：設置日総数10日。

- (8) 全国的規模の各種大会を誘致促進するために交付される「静岡市全国大会開催事業補助金」の交付手続きの仲介を行った。  
対応件数 51大会 合計13,022千円
- (9) コンベンションの開催準備に必要な資金を貸し付ける「コンベンション開催準備資金貸付」業務を行った。 1件 160万円
- (10) 一定の条件に該当する外国人が参加する国際会議の主催者に、コンベンション開催経費の一部として、1件の「国際会議誘致助成金」交付を行った。  
○第4回国際OCHA学術会議  
期 日：平成22年10月26日（火）～28日（木）  
参加者数：708名 外国人参加者：15カ国81名  
交付金額：810,000円
- (11) プロスポーツ歓迎事業  
J1清水エスパルスの支援を兼ね、リーグ戦ホームゲームにて観光PRの出展を行った。  
開 催 日 平成22年11月14日（日）  
会 場 アウトソーシングスタジアム日本平  
内 容 主にアウェーチームの湘南ベルマーレサポーターに観光PR用クリアファイル入りパンフレットを配布した他、球場内電光掲示板等でPRした。また清水エスパルスの公式ホームページのトップページに当協会ホームページのリンクバナーを設置した。
- (12) 観光関連イベントの支援、対応  
ア 清水みなと祭り（実行委員会 まつり事業委員会）  
成功祈願祭、音楽パレードを運営した。  
イ 全国少年少女草サッカー大会（実行委員会 歓迎部会）  
歓迎の横断幕・看板等設置、サッカーまつりの運営等行った。  
ウ 清水港客船誘致委員会（歓迎事業）  
客船「アムステルダム」・「飛鳥II」入港の際に出店や観光案内を行った。  
エ 静岡市の観光と物産展  
新潟県上越市、長野県佐久市において、観光地の紹介や特産品の販売を行った。また、「産業フェアしずおか2010」において、上越市及び佐久市の出展の受け入れを行った。  
オ その他  
清水七夕まつり、清水港フラワーショー&インポートバザール、フオッササッカーのまち市民協議会、清水港カウントダウン、ふじのくに映画映像振興アソシエ
- (13) 新聞、テレビ等のマスコミへ毎月のコンベンション開催情報を提供し、適宜取材

を依頼する。

広報誌「しずおか遊悠マガジン」



## Ⅱ 広報宣伝事業

- (1) 協会広報紙「しずおか遊悠マガジン」の発行  
A4判8ページ、年4回発行（各4,500部）
- (2) 月毎の主な開催コンベンション名を掲載した  
歓迎ポスター「ようこそ静岡へ」を作成し、賛  
助会員飲食店等の店頭に掲示し、コンベンション  
開催をPRするとともに歓迎の意を表した。  
製作枚数：340枚/月  
（ただし10,11月は、2回発行）
- (3) インターネットホームページによる情報発信  
トップページアクセス数 217,309件
- (4) 静岡県中部4市の観光施設の優待割引券マップ「駿河の国おもてなしクーポン券」  
を作成し、圏域内を訪れる観光客や県外からのコンベンション参加者に配布した。

### ①利用対象施設件数と年間利用枚数

- ・静岡市16件：4,339枚
- ・焼津市 8件： 908枚                    合計38施設9,440枚
- ・藤枝市10件： 862枚
- ・島田市 4件：3,331枚

### (5) ショーケース広告掲出事業

静岡駅前地下道及び東静岡駅コンコース、富士山静岡空港ターミナルビル内、静岡県名古屋観光案内所に設置されている広告ケースを利用し、静岡市観光とコンベンション情報をPRした。

### (6) 静岡B級グルメPR事業

平成22年9月18日（土）～19日（日）に神奈川県厚木市で開催された「B-1グランプリ」への静岡おでんの会の出展、PR事業を支援した。また、「静岡おでんマップ」を新規で15,000部作成した。



### (7) 観光PR印刷物作成事業

#### ア 平成23年版観光カレンダー作成事業

- |      |  |
|------|--|
| 内 容  | メインタイトルは「静岡から見た富士山12か月」<br>サブタイトルとして「静岡市のふるさとの味」を各月に掲載 |
| 作成部数 | A2判 観光宣伝用1,100部 販売用500部                                |
| 配付先  | 観光キャラバンや教育旅行誘致訪問先、静岡県観光協会各案内所、賛助会員等に配付                 |

#### イ 久能山東照宮国宝記念ポスター作成事業

- 内 容 国宝に指定された久能山東照宮をメインに作成  
 作成部数 200枚  
 配付先 JR東海道線、JR関西本線、JR中央本線等の各駅
- ウ 静岡市観光ガイド「旅ナビ静岡」  
 内 容 市全域の観光地等をコンパクトに紹介したパンフレット  
 作成部数 改訂版80,000部  
 配付先 一般、静岡県東京・名古屋・大阪観光案内所、宿泊施設、  
 観光展等
- エ 静岡市観光ロードマップ  
 内 容 市全域及び市内主要エリアをまとめたロードマップ  
 作成部数 改訂版30,000部  
 配付先 一般、静岡県東京・名古屋・大阪観光案内所、宿泊施設、  
 観光展等
- オ 外国語プロモーション用リーフレット  
 内 容 海外でのPR活動に使用する、静岡市の観光の概要を紹介した  
 英語、韓国語、中国語（簡体字、繁体字）のリーフレット  
 作成部数 英語版、韓国語版各20,000部、  
 中国語版(2種)各10,000部  
 配付先 海外での観光展、商談会等
- カ 英語版静岡市シティガイド「道中マップ」  
 内 容 市内全域観光地を1枚にまとめた英語版観光ガイド  
 作成部数 5,000部、  
 配付先 主に来訪客用
- キ 卓上版2011年度観光カレンダー  
 内 容 静岡市から望む富士山と各月の催事等の画像を組み合わせた卓  
 上カレンダー  
 作成部数 1,000部  
 配付先 観光キャラバンや教育旅行誘致訪問先、静岡県観光協会各案  
 内所等に配付

(8) イベントカレンダーの作成、配付

静岡市内で開催されるイベント等を紹介する「イベントカレンダー」を毎月発行し、観光案内所等で配付した。

(9) 2011しずおかクィーンコンテスト事業

静岡市のイメージアップと観光振興のため、「2011しずおかクィーン」を選出するコンテストを実施した。

募集期間 平成22年11月～平成23年1月14日

募集方法 ポスター、チラシ、協会ホームページ、新聞広告等

応募者数 46名

審 査 1) 面接審査 平成23年1月22日 有資格者全員対象

2) 公開審査 平成23年2月19日 面接審査選考の20名

2011しずおかクィーンには、出雲あや乃、佐野祐子、望月美沙の3名が決定した。

(10) 静岡市シティプロモーション事業

静岡市シティプロモーション戦略資源である「お茶」「まぐろ」「ホビー」「桜えび」のPR及びそれらにちなんだ催しでの観光宣伝事業を賛助会員と協力して実施した。



ホビーフェア  
スタンプラリーうちわ

・静岡ホビーフェア会場内に開設の観光情報コーナーでの観光案内や各種イベントの企画実施によりフェアを盛り上げた。

平成22年7月～平成23年3月まで。

・タミヤフェア及びクリスマスフェスタに観光ブースを出展し、当日の宿泊斡旋や観光案内、観光アンケート調査などを行った。

タミヤフェア 平成22年11月20日、21日

クリスマスフェスタ 平成22年12月18日、19日



クリスマスフェスタ

(11) 地域FM放送宣伝事業

市内の観光地、イベント情報をコミュニティFM局「エフエムしみず」及び「シティエフエム静岡」を媒体として1年間にわたり発信した。

(12) 観光情報端末利用事業

富士山静岡空港ターミナルビルに設置されている情報端末により、静岡市の観光情報の発信を行った。

### Ⅲ 調査企画情報提供事業

(1) 各種団体にコンベンション開催意向調査を実施して開催情報を収集し、開催情報データシステムを充実して誘致活動に活用した。

(2) 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー(JCCB)での情報交換

○平成22年度JCCB総会

期 日：平成22年6月21日(月)

会 場：京王プラザホテル

出席者：107団体108名参加

○第1回JCCBコンベンション・ビューロー部会

期 日：平成22年5月20日(木)～21日(金)

会 場：金沢文化ホール

出席者：39団体62名参加

○第2回JCCBコンベンション・ビューロー部会

期 日：平成22年10月28日(木)～29日(金)

会 場：三重県志摩市 伊勢志摩ロイヤルホテル

出席者：38団体54名参加

- (3) 日本政府観光局（J N T O）での情報交換  
○国際観光セミナー&商談会 2 0 1 0  
期 日：平成 2 2 年 6 月 1 4 日（月）  
会 場：椿山荘プラザ 4 階「ジュピター」  
商談会：6 社
- (4) 静岡へ誘致する大会の受入れ態勢を調べるため、他都市での開催状況を視察した。  
○「第 4 9 回日本 S F 大会」  
期 日：平成 2 2 年 8 月 7 日（土）～ 8 月 8 日（日）  
会 場：東京 タワーホテル船堀  
目 的：第 5 0 回日本 S F 大会が平成 2 3 年 9 月 3 日（土）・ 4 日（日）の  
日程でグランシップで開催、参加予定数 1, 8 0 0 名。
- (5) 静岡県中部で開催されるコンベンションの経済波及効果の調査を実施し、その結果を公表して、コンベンション開催の意義を広く紹介した。  
○大会名：「第 3 7 回全国図書館研究大会」  
期 日：平成 2 2 年 8 月 4 日（水）～ 8 月 6 日（金）  
会 場：グランシップ  
参加者：2, 0 0 0 名（アンケート回答：1 9 7 名）  
経済波及効果：1 億 9, 7 6 4 万円
- (6) 平成 2 2 年度中部コンベンション連絡協議会  
期 日：平成 2 2 年 9 月 2 8 日（火）～ 9 月 2 9 日（水）  
会 場：連絡協議会（下呂交流会館）  
情報交換会（下呂温泉水明館）  
参加者：1 7 団体 3 0 名＋顧問（国土交通省） 1 名
- (7) 従来の総務委員会を変更し、コンベンションの企画・調査等に関し、圏域 4 市の担当者により具体的な活動につなげていくための委員会として、第 1 回会合を開催した。  
期 日：平成 2 3 年 1 月 1 8 日（火）  
会 場：焼津市役所議会庁舎 3 0 2 号 A 室  
参加者：6 名（静岡市、焼津市・島田市観光課各 1 名、当協会 3 名）
- (8) 静岡県コンベンション推進協議会・作業部会への参画  
メンバー：沼津市・富士市・静岡市・浜松市の 4 ビューロー・  
県観光協会・県ホテル旅館生活衛生同業組合  
活動内容：協議会での議論を踏まえ、「コンベンションの誘致・開催  
に向けた人材育成研修会」「静岡県おもてなし大賞 2 0 1 0」「I M  
E 2 0 1 0」への共同出展を実施した。

#### IV 人材育成事業

##### (1) 賛助会員のつどい 2010

賛助会員相互の交流と情報交換等の場として開催。



賛助会員のつどい

平成22年7月12日（月）14時30分～

会場：グランディエール ブケトーカイ

参加者：99社 141名

賛助会員ブース出展：12社

講演会：宝井駿之介の「講談教室」

- (2) コンベンションや観光関連機関のセミナーや公益法人運営に関する研修会に参加し、職員の資質向上を図った。

- (3) 平成22年度観光ボランティアガイド養成講座を実施した。

期 日：10月23日（土）・26日（火）

11月2日（火）・6日（土）・9日（火）

12日（金）・15日（月）・27日（土）

受 講 者：13名

修了証交付：9名

- (4) 外国人おもてなしセミナー2010を開催した。

期 日：平成22年7月22日（木）、23日（金）

会 場：22日静岡会場（静岡グランドホテル中島屋2階ローズルーム）

23日清水会場（静岡市清水産業・情報プラザ3階研修室）

参加者数：63名（静岡会場37名/清水会場26名）

- (5) サポート通訳研修会

内 容：国際会議を取り扱われた経験者を招き、  
ホテル側の受入れや旅行会社社員による  
経験談を踏まえた実務研修を行なった。

期 日：平成23年3月26日（土）

会 場：グランシップ10階1003会議室

参加者数：12名

- (6) 外国人観光客おもてなしセミナー（出前講座）

内 容：外国人観光客受入れ体制の強化、意識向上やマナー等知識習得のため、  
賛助会員の事務所に出席して講義する、出前講座を行った。

期 日：平成23年7月～12月

参加施設：宿泊施設、飲食店、観光施設等8施設 180名



## V 施設管理運営事業

### 1 指定管理等

静岡市の指定管理及び委託並びに民間の施設管理を行なった。

- (1) 静岡市清水港船宿記念館「末廣」（市指定管理施設）
- (2) 次郎長生家（民間施設）
- (3) 静岡市駿府城跡観光バス駐車場（市委託施設）
- (4) 登呂駐車場（市土地賃貸借）
- (5) 静岡駅前地下道ショーケース

## 2 観光案内所管理運営

国・静岡市から委託又は補助事業として、以下のとおり管理運営を行ない、観光振興を図った。

(1) 静岡市静岡駅観光案内所(市委託事業)	利用人員	40,994人
(2) 静岡市総合観光案内所(市委託事業)	利用人員	143,865人
(3) しずチカ情報ポケット(市委託事業)	利用人員	34,395人
(4) 静岡市清水駅前観光案内所(市補助事業)	利用人員	4,632人

## VI 会議

### 1 理事会

第1回 開催日：平成22年6月29日(火)

会場：浮月楼

議題：①専決処分の報告と承認について	(同日承認)
②平成21年度事業報告について	(同日可決)
③平成21年度収支決算について	(同日可決)
④平成22年度収支補正予算について	(同日可決)
⑤評議員の選出について	(同日選出)

第2回 開催日：平成23年3月23日(水)

会場：浮月楼

議題：①平成23年度事業計画について	(同日可決)
②平成23年度収支予算について	(同日可決)
③評議員の選出について	(同日選出)
④理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選出について	(同日選出)
⑤顧問の選任について	(同日選任)
⑥専門委員会委員の選任について	(同日選任)
⑦新公益法人制度における最初の評議員の選任について	(同日選任)
⑧財団法人静岡観光コンベンション協会 処務規程の一部改正について	(同日可決)



### 2 評議員会

第1回 開催日：平成22年7月5日(月)

会場：浮月楼

議題：①専決処分の報告について	(同日了承)
②平成21年度事業報告について	(同日可決)
③平成21年度収支決算について	(同日可決)

- ④平成22年度収支補正予算について (同日可決)  
 ⑤理事の選任について (同日選任)

第2回 開催日：平成23年3月29日(火)

会 場：クーポール会館

- 議 題：①平成23年度事業計画について (同日可決)  
 ②平成23年度収支予算について (同日可決)  
 ③理事及び監事の選任について (同日選任)

監査等実施状況

平成22年 6月18日(金) 監事による監査

平成23年 2月18日(金) 中部運輸局による監査

法人登記変更登記に関する事項

(1) 平成22年4月12日 理事の変更登記

(2) 平成22年7月29日 理事の変更登記

役員に関する事項

平成22年度における役員の就退任の状況は、次のとおりです。

区 分	年度当初	就 任	退 任	年 度 末
理 事	29 名	9 名	9 名	29 名
監 事	2 名	1 名	1 名	2 名

(敬称略・五十音順・平成23年3月31日現在)

理 事 長	小 嶋 善 吉	静岡市長
副理事長	酒 井 公 夫	静岡鉄道株式会社代表取締役社長
副理事長	渡 井 務	静岡県文化・観光部観光局長
副理事長	新 川 元 康	焼津市経済部長
専務理事	栃 本 英 雄	財団法人静岡観光コンベンション協会専務理事
常務理事	辻 和 夫	財団法人静岡観光コンベンション協会常務理事
理 事	青 木 清 高	社団法人静岡県経営者協会専務理事
理 事	朝比奈 利 幸	藤枝市産業振興部長
理 事	渥 美 富 夫	静岡茶商工業協同組合理事長
理 事	石 田 裕 之	静岡県家具工業組合理事長
理 事	大 石 司 朗	静岡商工会議所副会頭
理 事	川 辺 哲	静岡市中央商店街連合会会長
理 事	工 藤 純 生	東海旅客鉄道株式会社常務執行役員静岡支社長

理	事	久保田	隆	静岡市料理飲食業協同組合理事長
理	事	後藤	磯吉	はごろもフーズ株式会社顧問
理	事	竹内	輝	静岡市ホテル旅館協同組合理事長
理	事	田代	武満	静岡県農業協同組合中央会会長
理	事	田宮	俊作	株式会社タミヤ代表取締役会長
理	事	中西	勝則	財団法人静岡県銀行協会会長
理	事	成岡	隆二	協同組合静岡名物協会代表理事
理	事	西川	昭策	清水ホテル旅館組合顧問
理	事	早川	巖	鈴与株式会社代表取締役副社長
理	事	藤田	圭亮	社団法人静岡青年会議所理事長
理	事	前田	勇夫	島田市スポーツ文化部長
理	事	松井	純	株式会社静岡新聞社取締役社長
理	事	松本	仁麿	株式会社ジェーティービー中部静岡支店長
理	事	水野	和明	静岡県百貨店協会会長
理	事	宮澤	裕樹	日本平観光組合組合長
理	事	山脇	武	しずてつジャストライン株式会社代表取締役社長
監	事	渡辺	昇	静岡市経済局商工部部長
監	事	長嶋	誠一郎	静岡商工会議所常務理事・事務局長